

## 門前まち花遊歩

### 牛に引かれて善光寺参り



主催 NUPRI NPO法人 長野都市経営研究所  
後援 長野市、善光寺、長野商工会議所、  
中央通り活性化連絡協議会、  
ながの軽トラ市実行委員会



地域の皆さんに、より長野のまちに親しみ、愛着をもっていただきたい、とNUPRIが「わいがや ここ掘れ! NAGANO 調査隊」の第3回として9月1日(土)に開催した体験型事業「門前まち花遊歩～牛に引かれて善光寺参り～」。女性&きもの参加条件に応じた55名が説話にちなみ、牛に引かれて善光寺さんを詣で、門前まち散策を楽しみました。

セントラルスクウェア・表参道 長野オリンピックメモリアルパークにて受付(10:00～)、出発式。善光寺<sup>ひじり</sup>聖役を務めるのは、市川浩一郎 NUPRI理事長、荒井恵子長野市商工観光部次長(鷲沢正一長野市長の代理)、加藤久雄長野商工会議所会頭。進行役は鈴木隆治理事。





千曲市から馳せ参じてくれた牛(牝/名前は杏花)に引かれて善光寺をめざす。この日、表参道では`ながの軽トラ市、も開かれており、人出が目立つ。突然の牛の出現にびっくりした様子の男の子が「ねえ、なんで、牛がいるの?」、お母さん「なんでかなー」。その会話に年配の婦人が「この頃の人(「牛に引かれて」の話)を知らないんだね〜」(市内在住/今日は何かあるらしいと聞いて一人で来たそう)。はたまた別の親子連れ、「なんでキモノ着ているの?」「なんでか知らないけどキレイね」…。



仁王門、仲見世を抜け、善光寺山門に到着(11:15)。待ち構えていた善光寺若麻績敏隆寺務総長より「意味あるイベントが長野に根付いていくと善光寺としても有り難い」という答礼を頂戴する。いあわせた国内外観光客から「いい日に来れてラッキー」「Beautiful!」の声が上がり、カメラが盛んに向けられました。



昼食は宿坊・円乗院にて精進料理。このイベントで初めて会った人同士も打ち解け、「精進料理、初めてです」「京都のお寺では食べたことがあるけれど(長野では食べたことがない)」「宿坊に入れるというのも面白い企画だと思って参加した」「遠来のお客さんが来たときに宿坊を予約したら喜ばれた」等々、お料理に舌鼓打ちつつ、話が交わされました。



大本願に移動し(13:00)、鷹司誓玉尼公上人より善光寺の由来・縁起と`牛に引かれて善光寺参り、説話、布引観音などのご法話をいただいた後、一人ひとりに御守と護符が手渡されました。



その後は自由参加により、西・東コース二手に分かれて門前まち(善光寺界限)の見どころ紹介を受けながら散策し、解散。参加者の感想…「きものが好きなんです、長野は着ていく機会がなかなかない。参加してよかった」「ゆかたでもOKというので、気楽に参加できました」「楽しかった!」「何かにつけ善光寺には来ていますが、説話に則れた今回は特別な体験ができました」

NUPRI始まって以来初、人牛一体となつての体験型事業は百日紅の花の下にて、つつがなく終了。イベントの様子がSBCTV、信濃毎日新聞、長野市民新聞、長野経済新聞等で報じられました。